

昆陽だより

2026 年 1 月 新春号
 昆陽だより発行委員会事務局：
 幕張公民館内
 千葉市花見川区幕張町 4-602
 電話 043-273-7522
 (受付時間 9:00~17:00)

～ あけましておめでとうございます ～

今年は午年(うまどし)になります。

「午」の字の語源を調べると、餅をつくときに使う道具の「杵(きね)」と言う象形文字に由来するそうです。古代中国で考え出された十二支は年月日、時間や方角を数えるための記号でした。しかし文字の読めない庶民には覚えにくいので、彼らにもわかるように漢字の発音が似ている動物があてはめられました。そこで「午」には「馬」が割り当てられた訳です。この十二支の中で「午」は7番目になります。今回は今年の干支(えと)「午」に関係するお話をいくつかご紹介したいと思います。

◎十二支にまつわる民話：昔々ある年のこと、神様が動物たちにお触れを出したそうなの！「元旦の朝、新年の挨拶に来なさい。1番から12番の者をそれぞれ一年の間、動物の大將にしてやろう」と。動物たちは元旦の朝が来るのを待っていましたが、猫は日にちを忘れてしまいネズミに聞くとネズミはわざと一日遅れの日を教えました。また牛は歩くのが遅いから一足早く出かけようと夜のうちに出発しました。これを見たネズミはポンと牛の背中に飛び乗りました。神様の家の門が開いたとたんネズミは牛の背中から飛び降りて1番になりました。こうして到着したのが順番に鼠・牛・虎・兎・龍・蛇・馬・羊・猿・鶏・犬・猪となり猫は一日遅れたため仲間に入れませんでした。このことから今でも猫は恨みを忘れずネズミを追いかけているそうなの！……

◎端午の節句：午の月は旧暦の5月になりますが、この月の最初に来る午の日を端午(端=はじめ)と呼びました。午は五と読めることから五と五が重なる5月5日は午の日にあたらくても、目出度いお祝いの日として端午の節句と呼ばれる宮中行事になりました。

◎初午：立春のあとに来る最初の午の日を初午と呼びます。室町時代ころから1年の農作業を始める時に豊作を祈る行事として初午の日に稲荷神社にお参りするようになり、今でも各地の稲荷神社で初午祭が行われています。

◎正午：古い時代では、1日を12に分け干支をもちいて時間を表わしており、「午の刻」は現在の11時から13時までの2時間を指しました。

この午の刻のちょうど真ん中にあたる12時を「正午」と呼びます。

ここから正午を境にして前を「午前」、後を「午後」とする呼び方も生まれました。

◎子午線：方角では「午」は南を表しますが、北は「子」になります。このことから地球の南極と北極を結ぶ線を「子午線」と呼びます。

◎絵馬：馬が日本に渡来したのは5世紀とされますが、当時、馬は貴重な動物であったので神様の乗り物である「神馬」とも考えられ、大切な願い事をするときには生きた馬を神様に捧げる風習がありました。しかし平安時代には本物の馬に代わり土製や木製の馬になり、さらに絵に描いた馬へと変化し今日みられる「絵馬」になりました。

◎丙午(ひのえうま)：今年は十干の「丙」と十二支の「午」が組み合わさった60年に1度の丙午になります。丙も午も火の性質を持つことから丙午は力強い年とされます。日本では江戸時代の“八百屋お七”の逸話からこの年に生まれた女性は火のように気性が強いという迷信が広がり、出生数が大幅に減少する原因になりました。さすがに最近ではこのような迷信が話題になることも減り、今年の出生率に影響することは無いと思います。





★ ★ ★ ま ち の た よ り ★ ★ ★

子守神社 2月 3日(火) 節分祭(豆まき) 午後5時頃

子安神社 2月 3日(火) 節分祭(豆まき) 午後2時半頃

三代王神社 2月11日(水) 春祭り(御奉射とお神楽奉納) 午後2時半頃～午後4時頃

子安神社 2月28日(土) 湯立ての神事とお神楽奉納 午後3時頃～午後5時半頃

*実施日時などは各神社にご確認ください。

◎ダイヤモンド富士

2月の中旬～下旬の間に、海越しに沈む夕日が富士山頂に重なりダイヤモンドのように美しく輝く現象が見られます。

検見川浜、幕張の浜など日にちによって絶好のポイントが移動します。

詳しくは市政だよりでご確認ください。観光協会ホームページでも分かります。

※このコーナーの日時・内容は諸般の事情により変更になることがありますことをご了承ください。



○お詫びと訂正

第55(秋)号でお知らせした三代王神社秋季大祭の日時に間違いがありました。

10月20日(月)(誤)→10月26日(日)(正)でした。お詫びして訂正いたします。

今日のスケッチ

子ども食堂ってどんなところ？

私は今、子ども食堂のお手伝いをしています。友人が子ども食堂でボランティアをしていると聞き、子ども好きな私としてはどんなところなのかとても興味が有り、行ってみたことがきっかけでした。

受付から優しい笑顔でウェルカムな雰囲気印象的でした。地域の方が作ってくださる無添加のホカホカご飯も美味しくて、隣の席のご家族とも話したりしながら、わいわいした空間で親子で楽しく食べることができました。

他にも子どもが友達同士ときていたり、家族みんなできていたり、シニアの方、地域の色々な世代の方が集まり会話されている光景もありました。

今の時代、共働き夫婦、核家族化などにより孤立を感じやすいため、幅広い世代への食事提供でそれぞれのコミュニティの場になっていることはとてもありがたい環境に思えました。

ボランティアをされている方々とも話す中で、社会貢献をしたい、子どもが大好きだから、自身が子育てしていた時代にとっても周囲に助けられたから、恩返しをしたいからという話もお聞きして、温かい雰囲気は、温かい想いから作られているのだなと感じました。

私自身も1人で小さい子どもを見るときはこういう場所に何度も救われてきたので、自分も与える側になればとお手伝いをはじめました。

皆さんもお近くの子供食堂に足を運んでみませんか？

詳細は、「千葉市子ども食堂ネットワーク」

<https://xesn8.hp.peraichi.com/>

を検索ください。






(Y.A)



☆☆☆ 公民館からのお知らせ(1月～3月分) ☆☆☆



◎主催事業のご案内

講座名	詳細
春よ来い来い幕張寄席 笑顔で春を寄席よう。落語と講談と玉すだれでお楽しみください。落語のあれこれもあります。	2/12(木) 13:30～15:30 対 象: 市民 定 員: 30人 参加費: 無料 申 込: 1/4(日)～1/20(火) 必着 
大切なポイントをわかりやすく! 成年後見制度の活用を学ぶ 判断能力が不十分となったときに備えて、成年後見制度の概要と、制度を利用する際に必要な知識を学びます。	2/20(金) 10:30～12:00 対 象: 成人 定 員: 20人 参加費: 無料 申 込: 2/2(月)～2/10(火) 必着
地域連携事業 作品展 近隣福祉施設であるワーク幕張の利用者の作品を公民館に展示します。自由にご鑑賞ください。	2/27(金)～3/18(水) 9:00～21:00 対 象: どなたでも 定 員: なし 参加費: 無料 申 込: 不要 
子どもの話の聴き方 ～自己肯定感を高め、関係を深める～ 人権教育プログラム ^{キャップ} CAPの視点から、子どもの思いを受け止め、自己肯定感を育む関わり方を身につけましょう。	3/14(土) 10:00～12:00 対 象: 成人 定 員: 20人 参加費: 無料 申 込: 3/6(金) 必着 

往復はがきに①講座名、②お名前(フリガナ)、③ご年齢、④ご住所、⑤電話番号を記入して幕張公民館までお送りください。
幕張公民館 HP から可。応募者多数の場合は抽選になります。内容・日程等変更・中止になる場合があります。

図書室

から

幕張小学校4年生の POP です

2025年10/15(水)～11/19(水)の1か月間、幕張公民館図書室で、幕張小学校4年児童30名のおススメの本を展示いたしました。この企画は、その児童たちが授業で作成したPOPを学校図書館だけでなく、公民館図書室にも展開してほしいという学校図書館指導員の先生からの熱い思いから実現いたしました。

キャッチコピーとタイトル、推しの理由、イラストがA5の画用紙いっぱいになり、どの本も手に取ってみたい気持ちになるものばかりでした。実施期間を過ぎましたが、これからも繰り返し紹介してかざっていきますので、ぜひみなさまも注目し続けてくださいね。



サークル紹介

ナツメロ青春クラブ幕張

「ナツメロ青春クラブ幕張」です。私たちは、昭和ナツメロ歌謡曲を愛好し、健康長寿を促し、会員相互の親睦交流を図っています。活動内容は、カラオケをバックに皆で合唱します。現在7名(皆高齢者)で活動しています。やってみたいと思う方をお待ちしております。詳しくは公民館張り紙で案内しています。

日 時:第1・第3 金曜日 9時30分~12時

場 所:幕張公民館 2階 第2会議室

連絡先:松下 恒美



◇ 幕張雑記帳 馬加(幕張)城とゆかりの武将②

大須賀胤信(たねのぶ)と幕張城(館)

大須賀胤信は父・千葉常胤と母・秩父重弘の娘の四男として千葉で生まれました。出生年は不明ですが、兄・武石胤盛が1146年生まれであることから1150年前後と思われます。胤信は成人すると千葉郡田部田(若葉区多部田町)を所領として与えられました。この後千葉氏が源頼朝に臣従した1180年頃に新たに千葉郡大須賀庄本郷(幕張町周辺)を所領として移住し館(幕張城)を構えました。

そこは武石胤盛の所領に近接する場所でしたが、子守神社(素加天王社)の伝えによると武石胤盛の気質が短慮であったため、常胤は温和な弟の胤信を近くに置いたとしています。

胤信は1193年(建久4)に頼朝によって行われた富士山麓の巻き狩りに際し御狩場武役を命じられ、これを無事に務める事が出来た感謝の気持ちから館近くの椎崎に「素加天王社」を造営し、次男の中須賀正胤を神主に任じました。

1200年(正治2)に、下総国埴生郡大須賀保(成田空港~大栄町周辺)が新たな領地になり移住したため大須賀胤信の幕張での在住は20年余で終わり、その後幕張館は主不在のまま千葉宗家が管理しました。永正年間(1504~21)に神主の中須賀胤光が著わした「素加天王神社記」によると、1298年(永仁6)には館は主人が無く中須賀市正、中網縫之介、小見川内記、相原式部などの大須賀家家臣が守り、館の南方に形成された城下には1500軒ほどの町屋が立ち並んでいたと記されています。

なお、研究者の間では大須賀胤信は田部田の次に埴生郡大須賀保へ移り、幕張には居住していないとする見方があることを付け加えます。今回は室町時代の領主・馬加康胤のお話になります。



幕張・子守神社

ティータイム

幕張公民館主催事業「検見川の歴史を歩こ

う」で、歴史についてのお話を聞きながら検見川の町を歩いてきました。気づかず通り過ぎてしまうような所に、ひっそりといくつも寺社があることが知れ、またそれぞれの場所に人々の営みがあったことが感じられました。寒くて家に閉じこもりがちな季節ですが、出歩くことで、小さなことでも出会いが得られるかもしれません。どこかへ出かけたい気分の方、例えば幕張公民館の寄席で笑って、春をひと足早く「寄せ」に行くのはいかがでしょうか?!

(K.S)

